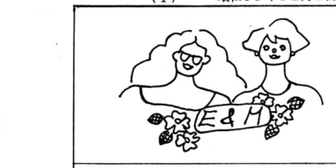


おしゃべりじゃ〜なる

女性の目で見た地域情報紙
編集と発行　富田栄子＆上田真由美
鳩ケ谷市桜町２－９－５
☎（0482）85-6208
発行日　３、６、９、12月の年４回

市長の素顔

「量間市長」――といえば鳩ケ谷市民なら誰でも知っている有名人。立場上いつもきちんとしているけれど、ほんとうは？・・。なんて考えたら『好奇心』ムクムク。そこで市長のお宅にお邪魔して、家庭での素顔をちょっとフォーカス！

家ではいつも和服・快よくインタビューに応じて下さった市長夫婦

市長のプロフィール

量間仲三郎氏は大正四年生まれ。七十三歳。浦和中学（現・浦和高校）卒業後、東京電等工科学校を中退。町議・町長を経て、四十四年初代鳩ケ谷市長。以後八選を果たし、現鳩ケ谷市長。
みつさんとの間に三男一女。孫十人。

奥さんとは見合い結婚

市長の家は三年以上も続いている名家で、市役所のそばのせともの屋・竹屋さん。おばあちゃんのやすさん（八十六歳）、奥さんのみつさん（七十一歳）、英司さん（四十九歳）・信子さん（四十七歳）夫婦と三人のお孫さんの美奈子さん（二十一歳）、通君（十九歳）、雅芳君（十五歳）の八人家族。今では孫の四世代家族なのです。

奥さんとはお見合い結婚。お互いの顔を見ることもなく結婚式をしたといいます。「こく、顔も見ないで？」と思わず体を乗り出すと、「下を向いていたしね。そのころはみんなそんなものですよ」と市長。昨年、孫や子供達が金婚式のお祝いをしてくれました。

金婚式はみんなでお祝いしてくれました（62年４月）

珍しい四世代家族

家庭では優しいお父さん

川口の染物屋からお嫁に来た奥さんは、しきたり等も対、関係では苦労をしました。わあ、たいへんだ。私たちじゃ、市長の奥さんはとてもつとまらないわ。今もよっぽどの勇いで市政に対する苦情の電話をしてくるそうがいます。でも電話で謝っておいて市長の耳には入れないようにしているというから、さすが内助の功。量間家は代々奥さんがしっかりしているようで

さん。お嫁さんの信子さんは奥さんや床屋さんに染めて貰っているからなんです。

「喧嘩は一回しかしたことがない」という市長。後で奥さんに聞くと、「喧嘩は

亡き母の実家が大宮で、さつまいもを作っているのでその郷愁があるのでしょう。市長も英司さんもお酒はまるでダメ。量間家はお酒の方は女性上位のようです。ちなみに今晩の夕食はカツどんでした。

お酒は女性上位

「僕は酒癖で怒られたことがないんですよ」と英司さん。若い時、毎晩のように夜遊びして帰って来た時も玄関でガラリと音がするまで、起きて待っていてくれたと言います。お父さんは人一倍心配していたのでしょう。「若い人が好きで

僕の友達が来てもすぐに割り込んで、話に入ってくるし、好奇心旺盛、夢いっぱい。僕の方が負けそうです」と笑う。

健康法は昆布茶。朝食はいつもパンとスープ。好きも嫌いがなく、家族はみんな平等で同じものを食べると言う市長。奥さんと信子さんの話では「まつまいもの煮物」が大好物だそうです。

春暁のまないたにおもき　灯をかかげ

布団の中でカラオケ練習

趣味は小唄や日本画鑑賞。十代の頃にはこんな俳句も作りました。時々カラオケを歌わされることもありますが、「娘よ」や「雪椿」を披露します。

そうそう市長に内緒で奥さんにこんなエピソードを聞きだしました。カラオケのテープを買ってきて夜中にこっそり布団の中で練習しているんですって！「うるさいからやめてよ」って奥さんに怒られている市長なんて想像できます？

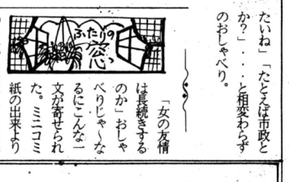
得意の小唄を披露（60年３月、日刊工業ホール和室で）

ネクタイは父の日のプレゼント

市長の黒々と髪は本当の日のプレゼントを染ましがる子供のようなところあるのです。結婚五十一年よ。服装はかまわないという市長ですが、毎日どのネクタイにしようか楽しんでいるそうです。それもそのはず、ネクタイは全部二人のお嫁さんと娘さんが毎年『父の日』にプレゼントしてくれたものばかり。お孫さんにはメロメロの優しいおじいちゃんですが、「父の日は何で母の日より遅いんだ」と奥さんが真っ、母居の園遊会に招かれたとき。

※　※

おしゃべりに夢中になって、すっかり長居をしてしまった私たち。帰り道には何か温かいものを感じて。「役所は別として、家では ご普通の、優しいお父さんって感じね」「今度、別の話題でおしゃべりしてみたいね」「たとえば市政とか？」・・と相変わらずのおしゃべり。



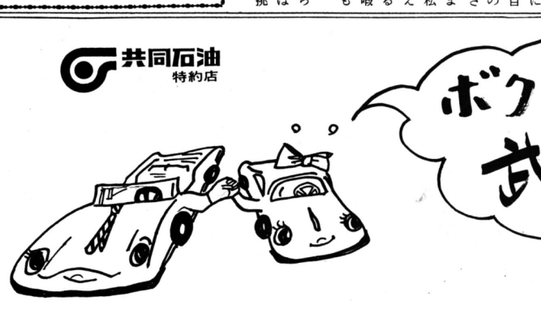
二人のお孫さんの成人式の日に（62年１月）

おたのの会

「女の友情は長続きするのか」おしゃべりじゃ〜なるにこんな一文が寄せられた。ミニコミ紙の出来より『これからの二人』に興味と不安を感じると言う♠女の友情が長続きしないと言われるのは、お互いを認めあう寛容さと譲歩を無くしてしまい、しばしば外の形だけにとらわれて、女性特有の競争心や見栄・焦りが出てしまうのかも知れない♣学生時代は親友だったのに、結婚を境に夫の肩書きがそのまま妻の肩書きになってしまったり、家、自動車、果ては子供の学校の優劣まで。女の視野の狭さが、友情までも壊してしまう♠そういう意味では、私たちはお互いの利害を越えて、目的に向かって頑張る仲間同志、喧嘩してこそ、などありますま♣何事にも楽天的で考えるより先に、もう駆け出している私たちを『おしゃべりじゃ〜なるは美しく老いて、ギネスに挑戦の心意気です。

琴古流・都山流　各派尺八製作・販売

（株）竹治尺八工房
菅井竹治
尺八雅号（淡治）
〒334 埼玉県鳩ヶ谷市桜町１－11－32
電話 0482－81－4898（代）

共同石油 特約店

ボクたちは武南石油のガソリンが大きです
第一サービスステーション 桜町二丁目 ☎83-1218
第二サービスステーション 国道122号レストランさと前 ☎82-0966

IKI・IKIネットワーキング

第2回

シリーズ サークル

新舞踊『蕉峻会』

女らしく華麗に変身

平等で親切、プライベートな悩みも相談できると皆さんから信頼されています。踊りのキャリアは長い人で十八年、新しい人で四年。

時には独りも好きだけどみんなといるのはもっと好き。心を許せる仲間がいればいつも生きいき素敵な出会いを大切に、一十一が三にも五にもなるような、そんな関係作りませんか。

イキイキ・ネットワーキング第二回は、十八年続いている新舞踊『蕉峻会』へお邪魔しました。

毎週土・日曜日に『栄扇会・蕉栄会』二つのグループに分かれて、稲垣事務所一階で練習しています。

先生の藤間栄美さん（野口千代子・五十八歳・桜町）は、誰にでも

練習曲は皆の希望で決め

今は、「あばれた鼓」「雪椿」など。やはりカラオケ

その辺にあるようです。

少し踊るともうっすら

でおなじみの曲が親しみ安

と汗。優雅に見えて全身を

使うので、運動量もあり、リズム感も養われシェイプアップに最適です。

お稽古日は毎年、家の用事を済ませ着物姿に変身！ご主人たちも奥さんの女らしさに満更でもないようです。「可愛いいって言ってくれるよ」と、黒田さん。

発表会は年一回の市主催の芸能祭で、日ごろの成果を披露します。後で自分の踊る姿をビデオで見るのも楽しみのひとつです。失敗もバッチリ写っているけどこれもまた思い出です。

毎月積み立てて年一回の親睦旅行。来年は草津へ行く予定だそうです。真剣に稽古した後は楽しいお茶とお喋りの時間が始まりますとにかく底抜けに明るいグループです。

これから忘年会のシーズンです。初心者にも優しく教えてくれるのでかく上手大会でひと踊り、みんなをびっくりさせてみてはいかがでしょうか？

入会希望者は藤間栄美先生☎（八四）七四三一まで。

おしゃべり談話室

うちの女房もやけに元気がいい。本当に『お母さんばかり元気で』を地でいっている。『お前さのために働いてんだぞ！』なんて威張ってみても『ハイ ハイお父さんのおかげおかげ』と軽いなされて全然迫力なし。おしゃべり談話室の南町の主婦じゃないけれど「よ〜し これから夫を自立させて私にも定年を！」なんて叫ばれたら・・・なんだとマジに考えたりしている自分が情けない。

ぐったら亭主にとちゃ、せめて誕生日に花でも贈って女房殿の『機嫌』も取りたいもんですね。

（川口・会社員・五十歳）

「南町の主婦」というのは前号の投稿者です。お父さん、もっと自信を持ちましょう！

ぐったら亭主の「ひとり言」

この頃の女の元気さはどうだ。バイタリティ溢れる彼女を見ているだけで疲れてくる。普通のおばさんがミニコミ紙を発行するかと思えば、妻にも定年を」と叫ぶ、突然結婚相手を、つきつけ気の弱い亭主族を驚かす。くたびれ果てた中年男は、どう立ち向かっても勝ち目がない。戦う前から白旗をあげて全面降伏！

おばさんは「怒っているんだぞ」

このごろバスや電車に乗ると頭に来ることばかり。その一、小さな勇の子を連れた若いお母さん。私の隣りに座ったのはいいけれど、その子の両手にはオーキュジース。汚れた手で私のスカートを触っているのにしろう顔。

その二、電車の中で大きな声で男の子の品定めをする女子高生グループ。「ねぇ・あの人変じゃない」相手に聞こえたら、その人きっと立ちたがれないわ。私たちも清少納言も男の品定めはしたけど最低限のルールはあるわよね。

その三、少年マガジンを読んでる背広姿の若いビジネスマン。シルバーシートなんかに座っちゃって、あ〜あ、日本の将来暗いわ。

（本町・主婦・四十歳）

敵　イライラはお肌の大敵。せめて私たちは「オバン」と言われないよう素敵にいい女になりたいものですね。

優秀な勇に「憧れていたかった」

専業主婦だった私がパートに出て一年。男は女より優秀だと思いこんでいた私。だいたいあの課長、他人の意見で、事の是非がころころ変わる。「総論賛成、各論反対」のフレーズが好きで会議中、その言葉で終始、結論はいつも持ち越し。大声でよく呼びつけておいてガサゴソ捜す。だんなりがは家にいなさい」ということ。そんな職場にこの恵まれないあなた・・同情します。

能力があると思う女性の方が幸せだった。

（麻・パート・三十九歳）

格言『自分は男よりけっして劣っていません』

★質問しま〜す

郵便局跡地は集会場になるってほんとうなの？

市議会議員　稲垣利夫 氏

読者から桜町二丁目にある郵便局跡地はその後どうなっているの？それに二丁目の下水道工事はいつから始まるのかしらという質問がおしゃべりじゃ〜なるに・そこで読者に代わり、二丁目の稲垣議員に聞いてみました。

鳩ケ谷郵便局が昭和五十九年五月に現庁舎に移転してから、旧局舎についてはは以後遊休状態となっています。その後、市長及び議会に対し、早急に取得するよう要求してまいりました結果、六十二年度には廃校公社において予算計上されました。しかし土地価格の高騰に伴う公共用地処分の凍結という変化もあり、当初予定していた六十二年度の取得は期間されたものの、六十二年度には取得できる見通しがつきました。これが実現した場合、当施設を早急に改修・集会施設として活用できるように整備する計画です。

次に桜町二丁目地区の下水道工事についてですが、皆さんの関心はいつ頃下水道が来るのかということだと思います。二丁目地区在下水道課が進めている工事でいいますと最上流になります。市の下水道事業は四十六年十一月に事業認可を受けて以来、幹線工事、中継ポンプ場等の施設整備を進め、すでに巨六十億円の市費を投入しています。昭和六十三年四月一日現在では人口普及率三十三％の面積を図ることができ、今年度は桜町二丁目を中心とした工事が進められています。桜町二丁目は来年度工事予定となっております。

下水道工事には帯し、市民負担となる受益者負担金、私道排水設備工事、宅内排水設備等の説明会は昭和六十四年四月上旬より、工事説明会は工事業者決定後、行われます。下水道が完備されは住みよい街づくりがなされるよう皆様の御協力と御理解をお願いする次第です。

インド 大地のダルマ

お友達のご主人が本を出しました

田島與也著

インドに魅せられ、インドを愛し、渡航八十回に及ぶ著者が書かずにいられなかった不思議の国インド。雄大な大自然と戦い、協調してきた人々の歴史・文化・ものの見方など。これからインドを旅する人に是非一読してほしい一冊です。

（柳原書店・千二百円）

＊　＊

こちらおしゃべり編集局

興味のあるものに出会うと「これ、おしゃべりに使える」とつい思ってしまう。「好きなんだナー」と改めて実感！自画自賛したり、迷ったり。もうおしゃべりじゃ〜なるは生活の一部です。相棒と私、気分はすっかりおしゃべり編集長。オットおしゃべりはお喋りのおしゃべりではありません。ネンのため！（E）

「やだー、お母さん新聞部だったの？ダサーイ！」それを言うならジャーナリスト的センスを持った母とでも言ってくれ。「雀百まで踊り忘れず」と言うが、変わらんなあ」と元恩師。鳩ケ谷新報に紹介されて読者も増え、4面にした事で欲求不満解消！ビートルズを聞きながら、今夜はハッピーバースディ！（M）

★計画から実行へ。皆様のニーズに答えます。
〔株〕森田建築事務所
本店　鳩ケ谷市本町１－９－30　0482－84－5121
設計室　0482－55－6711

オットおしゃべり倶楽部
日本料理 清みつ

落ち着いた雰囲気で日本料理を堪能
『清みつ』は琴の音が流れ、雅な趣の和、ほどよく凛って、しっとりと落ち着いたお店。
一見高そうに見えるけど中に入ればカウンターと椅子席もあり安うございます。
奥様方、職人さん、結八文婦人客等、賑わう。結八文は弁当、千五百円、天ぷら御膳、千五百円から。手軽懐にも二千五百円から。
川口・キンカ堂さんの流儀、雅な趣の和、ほどよく凛って、しっとりと落ち着いたお店。
一見高そうに見えるけど中に入ればカウンターと椅子席もあり安うございます。
奥様方、職人さん、結八文婦人客等、賑わう。結八文は弁当、千五百円、天ぷら御膳、千五百円から。手軽懐にも二千五百円から。
いうから嬉しい。夜は接待の客が多い。二・三階には、大広間や茶室もあり宴会や同窓会・法事などいろいろな催物に利用出来る。
これからの季節人気の湯豆腐鍋を肴に清みつ特製の酒でイッパイ呑む。
十二月は師走特別懐石のもいい。月替わりの懐石料理も楽しみ。
☎（52）1001〜1001。

DAY & NIGHT
冬・うるおい素肌のための アルファ・ケア
メナード レディ&お肌
'88冬のカタログ
メナード
饒 博子 ☎（81）8342
鳩ヶ谷市桜町4-3-51-1

お歳暮に豊富な品揃え
お年始に地方配送賜ります

㈲マスヤ酒店　81－2968　4260

尺八の調律をする菅井竹治さん

桜町にも日本一の尺八作り

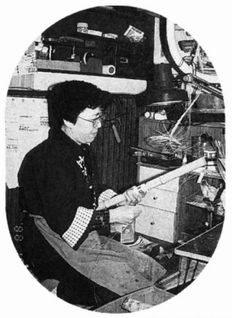
竹治尺八工房

桜町一丁目に日本一の生産を誇る「竹治尺八工房」があります。菅井竹治さん（本名金治・七十三歳）は定年後、趣味だった尺八作りをはじめ、創業二十年になります。竹治式調律マシンの発明で、高価と言われた尺八のコストダウンに成功。十五人の職人さんのうち半数は女性です。

九州、四国、群馬などから真竹を仕入れ、竹の乾燥に三年、一本を作り上げるのに、それから二ヶ月以上を要します。月産二百本、尺八作りは尺八を吹ける人でないと出来ない、地味で根気のいる仕事です。琴古流、都山流ともに一本三万円から八十万円以上。お客さんには民謡尺八の第一人者・矢下勇氏、現代尺八の村岡実氏など有名人も多く民謡教室のお弟子さんも一十人位。大宮から通ってくる人もいるそうです。

無口でおとなしい先生を支えるのは、穏やかで笑顔のやさしい奥さんの良子さん。仕事場には終始なごやかな雰囲気が漂います。尺八と言えば虚無僧しか連想出来なかった私たちですが、桜町にも日本に誇れる尺八作りが息ずいていることを知り、たいへん勉強になった一日でした。

尺八の修理はもちろんのこと、尺八の事なら何でも相談に乗ってくれるそうです。



この仕事を始めて十二年のベテラン、土方明子さん

遊び心で 歩いてみれば
桜町 通り再発見

特集 イラストマップ＆ガイド

桜町通りを歩いて、最初に見つけたのが「資金金物店」の店先の昔懐かしい大きなかまどとねずみ取り。七輪を消しつぼも。ここにくれば農機具なら何でも揃う。六代目・奥さんの寿美さん（七十歳）の話にまれば、昔は大八車を作っていて「運搬の棒屋」と呼ばれていたのこと。

桜町通りには古いお店がいっぱい。江戸時代には殺鶏行列が通り、日光御成街道として栄えた宿場町。最近はめっきり人通りも少なくなり、ゆっくりとおしゃべりしながら買物するといった風景は見られなくなったけれど、実はとてもユニークで温かみのある街。

遊び心で歩いてみれば おなん何気なく見過ごしているところに、意外と素敵な掘り出し物を見つけたりして、いいものを作っているお店からほら、この古い町並にも新鮮な出会いがあるのです。

今、レトロが面白い

何といっても私たちが目を輝かせたのは作業衣専門店の「アスマヤ」。創業五十年の石野市太郎さん（七十五歳）・とよさん（六十九歳）はとっても親切な夫婦。地下足袋を見つけて喜ばれ、南蛮を選んだ。世話になった親兄弟や父親の写真が飾ってあるのも人柄が偲ばれる。おしゃべりじゃ～なる推薦品は一百一十円の腕カバー。絵心習字、家事に見非見事にたい一品。そうそうとよさんと浅見金物の寿美さんは「すみちゃん～とよちゃん！」と呼びあう小学校の同級生。仲良しなのです。

九ちゃんは おしゃべり上手

「江原書店」の二主人は三代目。今は隠分と機械化されたが、裏道を歩くと量作りの仕事場が見られるのなかなか持っています。お風呂屋さんの中もちょっと覗いて見たかったな。

さて、食いしんぼうの私たち、つぎに紹介するのは焼き鳥屋さんから和菓子屋さんまで、食べもの屋さんの徹底ガイド。

焼鳥屋さんは 元SL機関士

焼き鳥の「鳥茂」のおじさんは北海道でSLの機関士をしていたんだって！脱サラで焼き鳥屋に。若い時は卓球の選手だったという孫が四人いるのに楽顔が可愛いいおじさんです。お行儀が悪いけれど焼きたてをその場で食べるのが最高一本一二円から四十円。安い。キョーザの店「マルコー」もおいしいと評判のお店。遠くから買いにくる人もいる。手作り豆腐の「日の出豆腐」おでん種を作っている「山与」は店頭でおでんも作っています。

語りつぎたい 古き良き時代を

植木屋さんが使っていたという腹掛（別名とんび）脚半、手甲などを見せてくれた。これはまさにTVの時代劇の世界。今長野県や山梨から、植木を仕入れに来た人達が買っていくという。元は自転車屋だったが父親の道楽を見て、地道な南京を選んだ。世話になった親兄弟や父親の写真が飾ってあるのも人柄が偲ばれる。おしゃべりじゃ～なる推薦品は一百一十円の腕カバー。絵心習字、家事に見非見事にたい一品。そうそうとよさんと浅見金物の寿美さんは「すみちゃん～とよちゃん！」と呼びあう小学校の同級生。仲良しなのです。

九ちゃんは おしゃべり上手

「江原書店」の二主人は三代目。今は隠分と機械化されたが、裏道を歩くと量作りの仕事場が見られるのが嬉しい。量の張り替えは五年中前後。年末はもちろん、一年中忙しい。「田中化粧品」のおじいちゃんは手作り軟膏を作っていたが、今はそんな時代ではなくなってしまったという。

「岩五園芸」は四百年も続いた古い由緒ある店だ。昭和二十五年頃までは肥料・農薬を専門にしていたが、今は花や緑もいっぱい。九宮鳥の九ちゃんはおしゃべり手で「毎度～」と店員さん気取り。みんなの人気者です。「花鈴」は全国どこでもお花が贈れる。花キューピットの店。

地蔵院のそばにある「武南湯」には、開店前からおばあさん達がおしゃべりしながら待っています。お風呂屋さんの中もちょっと覗いて見たかったな。

さて、食いしんぼうの私たち、つぎに紹介するのは焼き鳥屋さんから和菓子屋さんまで、食べもの屋さんの徹底ガイド。

焼鳥屋さんは 元SL機関士

焼き鳥の「鳥茂」のおじさんは北海道でSLの機関士をしていたんだって！脱サラで焼き鳥屋に。若い時は卓球の選手だったという孫が四人いるのに楽顔が可愛いいおじさんです。お行儀が悪いけれど焼きたてをその場で食べるのが最高一本一二円から四十円。安い。キョーザの店「マルコー」もおいしいと評判のお店。遠くから買いにくる人もいる。手作り豆腐の「日の出豆腐」おでん種を作っている「山与」は店頭でおでんも作っています。

私の思い出

一昔前の桜町商店街通り

宮野正弘

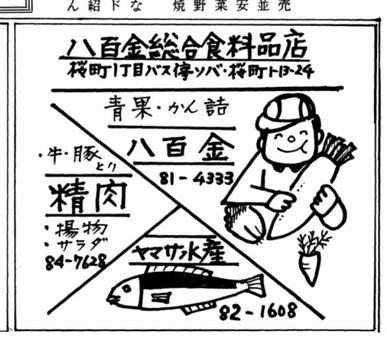
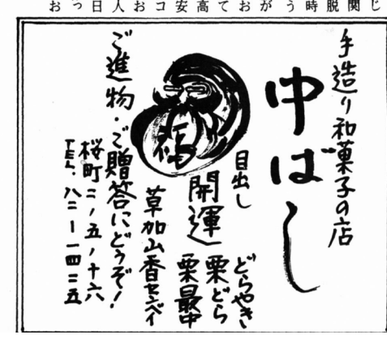
今ごろ住宅の過密化と交通量の増加が、騒がしさが増す昨今であるが、一昔前はどうであったろうか。私の記憶を辿ってみるといろいろと蘇ってくるのが懐かしい。うちの前の道は「浄土」の通り旧日光街道といわれるが私自身、未だ歩いた事がない。ある時はお大名が通り抜けまた徳政令時代がご乗馬でカモ猟にお通りになったという。ほこりのする山凸凹な砂利道で雨が降れば水溜まりができ、跳ねかえったりもする。

朝早く肥桶を積んだ荷馬車が何十台となく競列しながら通り、また午後には戻ってくる。どこまで行き戻ってくるのかがわからない。

荷馬車はうちの前の坂道を上ってくると馬に飼い葉を与え二息入れるのが常であった。よく馬糞を落として行く光景は肥料には持っていなので、ホウキとチリ取りを持ち素早く掃き集めるという良食だ。

当時のバスは東都乗合バスといい、戦時下の物不足の厳しい時代で木炭車だった。背後に大型の湯タンポ様なものを背負ったバスで炭を一俵また一俵とカマドに入れモーターで強風を送り込み火力をつけて走るのを見ていた。戦下も厳しさを増した頃だったろうか。戦車が何台も、また大砲を付けた馬車、弾薬を積んだ馬車などが何台も何台も通ったりもした。あれ馬鹿など特に印象に残っている兵隊さんはお寺や学校また往来の民家にも泊まった。

パスとは東都乗合バスの略称で、当時は何処とな、去って行った。

戦後はどこくさの中にもしてみなぎってきたうちの前から若行街道は桜街道ともいい、花山下まで桜のトンネルで武南桜として有名であった。赤いボンボリが立ち並び都内からの花見客もドッと押し寄せた。夜食夏物なども言い表せない美味しい素晴らしい光景であった。時代は移り変わり今では桜町商店街通りとして、明るい住み良い町づくりを形成しているが、この素早く掃き集めるという良食だけは取り消されてはならない。

（桜町商店会会長）